| 学校番号 | ３１０ |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 未来へつなぐ家庭総合３６５（教育図書） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、家族や友達、地域の人などさまざまな人々とのかかわりや、食べているもの、着ている衣服、住んでいる家や買い物などを通して、社会と深くつながっています。毎日の生活を振り返り、問題点を見つけて改善することで、生活を豊かにしていきましょう。そして、自立した生活の準備をしていきましょう。
そのために生活に係る課題を「①協力・協働　②健康・快適・安全　③生活文化の継承・創造　④持続可能な社会の構築」という４つの視点で捉え、工夫し、考えることにより、解決が出来るようになっていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な知識を科学的に理解しているとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を発見し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | B編　第2章　衣生活と健康 | ①衣服の役割ってなんだろう<br>1 衣服と私たち<br>2 衣服の機能<br>3 人の一生と衣服<br>4 衣服の安全上の問題<br>5 日本の伝統的な衣服<br>6 世界の文化と衣装<br>②　衣服はどうやってつくられている？<br>1 衣服の材料<br>2 衣服のつくり<br>◆衣服実習<br>③　衣服の計画･管理を知ろう<br>1 衣服を選ぶ<br>2 衣服の手入れ<br>3 衣服の保管 | a:･被服の機能について理解している。<br>・衣服が健康に与える影響について理解している。<br>・ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。<br>・被服の入手，洗濯，保管などの被服管理について理解し，管理できる技術を習得している。<br>・繊維の種類と特徴を理解している。<br>・三原組織や編物の構造を理解している。<br>・平面構成と立体構成の特徴を理解している。<br>・衣服づくりの手順を理解している。<br>・衣服づくりに必要な用具について理解している。<br>・衣服づくりの基礎的な技術を身につけている。<br>b:"･衣生活に関する学習を通して，自身の着装について考え，まとめたり，発表したりすることができる。<br>・被服製作において，素材，色，縫製などを工夫することにより着心地のよい被服を作成している。<br>c:　･衣服で個性を表現しようとしている。<br>・社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし，着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。<br>・被服製作実習に意欲的に取り組もうとしている。<br>・被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。<br>・被服製作実習に意欲的に取り組もうとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>作品 | ワークシート<br>実習 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | A編 第2章青年期の自立と家族家庭 | ②家族･家庭って何？<br>1 家族を築くこと<br>③将来の自分と家庭を想像する<br>1 現在の家族を取り巻く状況<br>2 男女共同参画社会<br>3 これからの家族と社会<br>4 人生や家庭生活で困ったときは | ａ：･現代の家族の特徴について，家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。<br>･家族･家庭に関わる法律や福祉について理解している。<br>･生活に関わる法律の基本的な趣旨，家庭生活を支える社会制度について理解している。<br>ｂ：ワーク・ライフ・バランスの視点から，職業労働のあり方について考え，まとめたり，発表したりできる。<br>･自分の人生をどのように送るか，関連資料などを参考に将来を想像しながらまとめている。<br>ｃ：･家族･家庭と社会との関わりに関心をもち，男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。<br>･さまざまな家族の形や性のあり方について，理解しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>グループ活動 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | A編 第4章高齢期の生活と福祉 | ①高齢期ってどういう時期？<br>1 高齢者とは<br>2 高齢期の心身の変化<br>3 高齢期の健康<br>4 高齢期の生活<br>②高齢化する日本を生きる<br>1 高齢化の現状<br>2 超高齢社会の課題<br><br>3 安心できる暮らしを支える<br>◆介助実習 | a：・高齢者の心身の特徴について理解している。<br>・我が国の高齢化の特徴を知り，高齢者福祉の現状と課題について理解している。<br>・高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。<br>・認知症の特徴や対応方法を理解している。<br>・日常的な介助技術の基本と実践する際の心構えを身につけている。<br>b：・認知症について，具体的な症状や事例，具体的な支援方法などを調べ，まとめたり発表したりすることができる。<br>・高齢者の自立した生活を支えるために，家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。<br>c：・高齢者に対する福祉の現状を理解し，高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。<br>・高齢者の自立と尊厳について，高齢者の立場に立って理解しようとしている。<br>・高齢者体験等の体験学習を通して，高齢者の生活に関心をもち，未来の自分の生活としてとらえ，意欲的に学習に取り組もうとしている。〃 | 定期考査 | ワークシート<br>実習 | グループ活動<br>ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | A編　第5章共生社会と福祉、 | ①　共生って何だろう？<br>1 共生社会って何だろう<br>2 リスクに備えよう<br>②　ノーマライゼーションとは<br>1 ノーマライゼーションの考え方 | a：・共生社会の重要性を知り，ノーマライゼーション，ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。<br>・社会保障制度や公的年金制度について理解している。<br>b：・身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ，まとめたり発表したりすることができる。<br>c：・さまざまな立場の人や，自分と異なる価値観の人に対しても理解しようとしている。<br>・高齢者や障害のある人など多様な人々とともに支え合って生きようとする姿勢がある。 | 定期考査 | ワークシート | ワークシート |
| 3学期 | B編　第3章住生活と住環境、 | ①どのような家に住みたい？<br>1 住まいって何だ？<br>②　安全に住もう<br>1 安全･安心に暮らそう<br>③快適に住もう<br>1 つながって暮らそう！<br>2 快適に暮らそう<br>④住まいの課題と未来の暮らし<br>1 持続可能な住まいへ<br>2 これからどう暮らしていこう | a：・住む人々の各ライフステージの変化や住宅に求める事柄の変化について理解している。<br>・住居の平面図を読みとることができる。<br>・日本と世界の住居や住まいと人との関わりについて理解している。<br>b：　・ライフステージや動線を考えて平面図を作成し，まとめたり発表したりすることができる。<br>・住居のバリアフリーやユニバーサルデザインについてまとめたり発表したりすることができる。<br>c：・住生活の文化について関心を持っている。<br>・将来の住まい方について考えようとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>作品<br>発表 | ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度